

ジュエリーミュージアム

甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階やまなしプラザ内
TEL 055-223-1570 FAX 055-223-1572

企画展

開館5周年記念 主張するジュエリー

2013年9月28日に開館したジュエリーミュージアムは今年で5周年を迎えます。本展では、その節目にふさわしい華やかな作品を紹介します。

ジュエリーは身に着ける人を美しく飾り、魅力を引き出し、印象づけるものですが、素材を生かす職人の技に裏打ちされたジュエリーは、作品そのものが力強く語りかけてきます。確かな技術によって生み出された「主張する」山梨のジュエリーをお楽しみください。

開催期間／～10月8日(月・祝)
観覧料／無料



ブローチ《カーネーションブーケ》
デザイン:内田千奈美
制作:(株)近藤宝飾
(株)KARAT 丹澤昌二



ネックレス《ファイアーオパールネックレス》
制作:(株)ジュエリーイヌマ

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881
FAX 055-266-3882

夏季企画展 甲斐の古代寺院

山梨県内には、古代に由緒を持つ寺院が80カ所以上と数多くあります。本展では、山梨における仏教文化の礎を築いた古代寺院の様子を貴重な考古資料から読み解いていきます。



中央:金銅観世音菩薩立像(複製)東畑遺跡
当館蔵(原品:県指定・甲府市教育委員会蔵)
左右:金銅観世音菩薩坐像(複製)松の尾遺跡
当館蔵(原品:県指定・甲斐市教育委員会蔵)

開催期間／7月28日(土)～9月2日(日)
観覧料／無料

富士山世界遺産センター

富士河口湖町船津6663-1
TEL 0555-72-0259
FAX 0555-72-0211

企画展 登山道と御中道

かつて富士山には、夏を迎えると、日本各地から数多くの道者が集いました。本展では、山頂への登拝を志す道者がたどった「吉田口登山道」と、富士講の道者が中腹を巡拝した「御中道」の二つの道を通して富士信仰のあり方を紹介します。



富士山御中道図(個人蔵)

開催期間／7月25日(水)～9月24日(月)
観覧料／一般420円 大学生210円

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168

開館20周年夏期特別企画展 科学ニンジャ学校 信玄先生の夏期講習の段

参加者が、見習い忍者として、昇級試験を受けるために夏期講習会場である「科学ニンジャ学校」を訪れるという設定。学校では、参加者が体を鍛え、科学的な知識を得ることで上級忍者への昇級を目指します。



開催期間／7月21日(土)～8月26日(日)
入場料／大人200円 小人無料
※入館料別途。土曜日は、高校生以下入館無料

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字丸丸尾5597-1
TEL 0555-72-6206
FAX 0555-72-6183

企画展

知りたい! 富士登山 -高山病を考える-

当研究所では、富士登山中の急性高山病の実態について研究を進めています。本展では、研究成果を基に安全で快適に富士登山を楽しんでもらえるよう、科学的な知識から高山病の原因や症状、対処法などについて、パネルを使って紹介します。



開催日時／～10月21日(日)
観覧料／無料



県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

開館40周年記念 魔法の美術館 光と遊ぶ、真夏のワンダーランド

体を動かすことで音や光をダイナミックに操ることができる作品や、絵本の世界に迷い込んだような幻想的な作品など、子どもから大人まで直感的に楽しめるメディア・アートの展覧会です。光ったり、動いたり、映像や音が変わったりする不思議な作品たちが皆さんをお待ちしています。光と影が織りなす魔法のアートの世界を、ぜひお楽しみください。



藤本直明「色のある夢」©naoaki FUJIMOTO

的場やすし/山野真吾/徳井太郎「SplashDisplay」
©yasushi MATOBA/shingo YAMANO/taro TOKUI
協力:電気通信大学小池研究室

開催期間／6月30日(土)～8月26日(日)
観覧料／一般1,000円 大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

企画展 誕生50周年記念 リカちゃん展

1967年に誕生した着せ替え人形のリカちゃんは、2017年に50周年を迎えました。リカちゃんの世界観は、移り変わる時代のファッションや住宅事情、ファミリー像や価値観を映し出してきました。

本展では、歴代のドールやハウスなど約700点が勢ぞろい。祖母・母・娘の3世代にわたる少女たちの夢の世界と、日本の50年の変化を振り返ります。「わたしのリカちゃん」、そして「あの日のあなた」にぜひ会いに来てください。



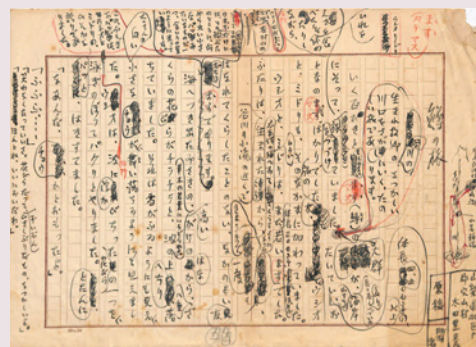
開催期間／7月14日(土)～9月3日(月)
観覧料／一般500円 大学生250円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

特設展 童話の花束 子どもたちへの贈り物

山梨ゆかりの作家の児童文学作品をテーマにした展覧会です。本展では、「赤毛のアン」などの翻訳とともに童話の創作でも知られる村岡花子、児童文学雑誌「赤い鳥」に「蜘蛛の糸」「杜子春」を発表した芥川龍之介、少年少女向けの歴史本編集に携わった前田晁、母親がわが子に読んで聞かせる「おかあさん童話」の創始者の徳永寿美子、「マスの大旅行」「山ばとクル」ほか独自の動物読み物を執筆した太田黒克彦などの作品を紹介します。



太田黒克彦「マスの大旅行」草稿
太田黒は疎開をきっかけに韮崎市に移住した

開催期間／7月14日(土)～8月26日(日)
観覧料／一般320円 大学生210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

「蜘蛛の糸」が掲載された「赤い鳥」創刊号
1918(大正7)年7月 表紙:清水良雄